

おたふくかぜ（ムンプス） ワクチン

接種回数・接種量

	接種回数	接種量
任意接種	1 回	0.5 ミリリットル皮下接種

おたふくかぜ（ムンプス） ワクチンについて

- おたふくかぜにかかると、1 週間ほどで治る方が多いですが、中には髄膜炎になったり、難聴などの後遺症を残す方がいらっしゃいます。特に難聴は重度で治らないと言われています。かかる前にワクチン接種で予防することが大切です。
- 接種後 2 週間ほど経って、まれに耳の下が腫れたり、38 度前後の熱が出たりすることがありますが、数日で軽快します。頭痛、嘔吐を伴うときは髄膜炎の可能性がありますので、受診してください。
- 自然感染に比べると、ワクチン接種による髄膜炎の頻度は非常に低いです。
- はしか、風疹、水ぼうそうのワクチンと同様に、2 回接種が勧められています。
- 麻しん、風しんと同様に、アジアなどでは流行がみられ、日本でも流行が起こります。
- 成人になってからかかると重症となることがあります。また妊娠初期にこれらの病気に罹ると胎児に影響が出る危険があります。

- 妊娠を希望される女性と周りの方、妊婦の周りの方、海外に行かれる方は、抗体検査を行い、抗体の低い場合接種をお勧めします。